

徳島コーディネーターから新聞作りを学ぶ
児童＝12日、福井市円山公民館



子ども記者 新聞作り学ぶ

福井・円山公民館 取材テーマ議論

福井市円山公民館の広報誌の子ども記者として活動する地元の小4、5年生8人が12日、新聞作りの出前講座を受講した。編集会議の進め方などを学び、取材テーマについて話し合っ



た。市の少年教育事業の一環で、同館は児童の記者体験に取り組んでいる。児童は地区の人に取材し、記事を広報誌に掲載する。本年度はまだ活動が本格化しておらず、新聞の基本を学ぼうと講座を受けた。福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターが講師を務めた。編集会議で児童は、学年ごとに4人の班に分かれ記事の題材を話し

合った。自然をテーマにした班は「荒川」や「ちくさ公園」、食べ物の班は「リゾート米」や「おはぎ」などの記事を書くことを決めた。円山小4年の杉本りらさんは「新聞記事の書き方が分かったので良かった。円山地区は田んぼがたくさんあって自然豊か。みんなに魅力を伝えたい」と話していた。

(藪内弘昌)